

次の「ニュースレター」は2月1日発行です。市内近隣センター、図書館、公民館などにおいてあります

NPO  こどもすぺーす柏

ニュースレター

Vol.80 2019.10.1

特定非営利活動法人
NPO こどもすぺーす柏

277-0005 柏市柏 1-7-1-301

パレット柏内

080-3738-8451

info.kodomospace@gmail.com

<http://kodomospace.sblo.jp/>

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。

大きな家族

連載 明橋大二先生の
子育てハッピーコラム²⁴

<本紙3面>

今号のテーマ

「他人に迷惑をかける子には、なっ
てほしくないと思っています。」



ふれあいキャンプ2019より(紙面5面)

世界でひとつだけの絵本づくり

共催:パレット柏

オリジナルのストーリーで自分だけの絵本を作ります

11月24日、12月1日午前・午後、8日午前(日曜、全3回)

会場:パレット柏

対象:小学生 参加費:1,000円(材料費)

お申込み・お問合せはパレット柏へ

04-7157-0280 (お申込みは10月2日から)



おやこ舞台鑑賞会 NO. 72

立川志の太郎

「みんなdeらくご 其の四」

12月7日(土)

開場 14:40~

開演 15:00~

アミューゼ柏プラザにて





2019 年度通常総会報告

6月9日(日) 9:45~11:45

パレット柏 ミーティングルームD

- 第一号議案 2018 年度事業報告
- 第二号議案 2018 年度会計報告
- 第三号議案 役員を選出について
- 第四号議案 定款の変更について
- 第五号議案 入会金及び会費の額について

2019 年度通常総会は、正会員 28 名の出席を得て開かれ、全議案が満場一致で可決されました。第一号議案は、スライドで全事業を振り返りました。2018 年度は通常の事業に加え、二つの 15 周年事業を行い、新体制への話し合いも進めながらの 1 年となりました。

周年事業の TAP DO! の「エキサイティング・ショータイム!」では、15 年間の感謝と、誰もが楽しめるエンターテイメントを届けることを目指し、実行委員はじめ会員の力でたくさんのお客様をお迎えできました。お客様の中には、障害をお持ちの方もいらして、「誰もが」の想いが実りました。

もう一つの周年事業、明橋大二先生の講演会「子育てハッピーアドバイス」では、自己肯定感の大切さをお伝えすることが出来ました。実行委員会に加わった子育て中のママたちから、やりがいを感じて参加できたという、嬉しい感想も聞かれました。

そのほかの事業は、長年続けてきたものがほとんどで、年を経るごとに内容が深まり、ミッションを掲げて活動している NPO としての成長を実感しました。

第二号議案の会計報告では、収支についての丁寧な説明があり、監事から適切な処理がなされていることが報告されました。

第三号議案の役員を選出については、新役員が承認されると、前理事長井野口(写真右)より新役員へバトンが渡されました。長年運営に携わった 7 名の理事は、退任後も会員として会を支えてくれます。

第四号議案は、前年度までに変更できていなかった法改正に伴う軽微な変更です。

第五号議案の入会金及び会費の額については、会員の情報紙と会員ミーティングで事前説明があり、可決されました。新しい制度の概要は次の通りです。

会のミッション

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし
鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。



新役員	理事長	大塚 咲子 (左から 3 番目)
	理事(事務局長)	高市 樹理 (// 2 番目)
	理事	高橋 久枝 (// 1 番目)
	監事	明吉 富美子
	監事	大島 千代美

- 正会員 (18 歳以上)
入会金 1,000 円 年会費 3,000 円
- こども会員
入会金 0 円 登録料 年 500 円
(保険代年 100 円は、0 歳からお預かりします。)
- 賛助会員
個人会員 1 □ 3,000 円/年
法人会員 1 □ 10,000 円/年

大きな変更点は、正会員の会費を年間 18,000 円から 3,000 円にしたことと、家族会員を無くしたことです。大人が自分の意思で正会員になることを大切にしました。今まで家族会員だった若者が正会員として総会に出席してくれたのは、何よりの喜びです。新たに設けたこども会員は、0~2 歳は無料、3~18 歳未満は登録料 500 円としました。

賛助会員については、変更はありません。今まで通り変わらないご支援をお願いいたします。

会員になって活動を楽しみたい人、支えたい人、一般参加の方にも必要な情報が届くよう、紙媒体だけでなく SNS も充実させていきます。

実際、Facebook で新たな制度を知り「この金額なら、活動をサポートできます。」と入会された方もいます。この 15 年で、行政との共催事業を任されるようにもなりました。

これからも会の理念を引き継ぎ、『子育て支援ならこどもすぺーす柏』といわれるよう頑張ります。

理事長 大塚 咲子



明橋大二先生の 子育てハッピーコラム②④

他人に迷惑をかける子には、なっ てほしくないと思っています

『0～3歳の これで安心 子育てハッピーア
ドバイス』（1万年堂出版発行）より



質 問

子どもが公園で順番を守らずに割り込みをしたり、友達のおもちゃを勝手に取ったりするので、見かけたときは、強く叱っています。他人に迷惑をかける子には、なってほしくないと思っています。

答 え

子どもにちゃんとルールを教えたい、他人に迷惑をかける子になってほしくない、という親御さんの気持ちは素晴らしいと思います。

そのうえで、年齢にもよりますが、たとえば1、2歳の子どもであれば、まだ友達とうまく遊ぶことができません。私は、1、2歳の子どもの発達課題は、まず自分の気持ちをちゃんと表現できることだと思っています。そういう意味では、お子さんは、順調に発達課題をクリアしていつている、といえます。自分の気持ちを表現すると、自己中心的な行動になります。そうすると、必ず他人とぶつかります。そのときに、一つずつ、「してはいけないよ」というルールを教えていくのです。

私がいちばん心配なのは、他人に迷惑をかける子よりも、むしろ小さいときに、自分の気持ちをまったく表現していない子です。

たとえば虐待を受けて、青年期になるまでずっと「いい子」できた人が、20歳を過ぎてから、暴力的になったり、犯罪に走る、ということがあります。そういう人の小学生時代を聞いてみると、「あんまり目立たない子だった」「何を考えているかわからない子だった」「でも、たまにキレるとものすごく怖かった」という人が少なくありません。

ルールは守れるし、トラブルも起こさない。けれどもそれは、自分の気持ちをちゃんと表現して、他人とぶつかったうえでのことではなくて、自分の気持ちを全然表現していなかったから。だから1年に1回か2回、キレるときはものすごく怖い。

それが、20歳を過ぎてから、逆に暴力とか犯罪という形になって表れてくるのです。

他人に迷惑をかけていいとはいいいませんが、子ども時代には、そういう自己表現は大切な意味があるのです。子どもの成長の中で、どうしても通らなければならないプロセスです。自分を出すことができれば、対人関係を学ぶことはできません。



◎自己表現できることが大切

■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童相談所嘱託医。著書『なぜ生きる』（共著）『みんな輝ける子に』『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づき、子ども支援の様々な活動・啓発を行うNPO法人「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長としても活躍なさっています。



おやこ舞台鑑賞会 No.71

『英語であそぼう！グローブパペット劇場』

影絵劇『くいしんぼうねこミミの冒険』

2019年7月6日 アミュゼ柏プラザ

今年度最初の舞台鑑賞会は、望^{もちのしや}ノ社による人形劇と影絵劇の2本立てステージでした。

カナダ人のダニエルと日本人の世里が演じるアメリカスタイルの人形劇。英語しかしゃべれないモンスターたちと、世里の演じるハナちゃんとのやり取りで、みている子ども達もいつの間にか up⇔down、near⇔far 等の反対 (opposite) の言葉を覚えて言えるようになりました。

影絵劇は、スクリーンの裏側ではなく、子どもたちの目の前で、すべての影絵の操作を見せてくれます。スクリーン上で影絵の人形達が自由自在に動く様は、まるでアニメーションを生で観ているような感覚。観ている子ども達が、徐々に身を乗り出していく様子は、まるで物語に引き込まれていくようでした。

16年前「柏こども劇場」から、「NPO こどもスペース柏」へと組織を変え、会員だけでなく、主に柏



のおやこへ向けお届けしてきた舞台鑑賞会が、今回で71回となりました。当初は、一般の方の来場はまばらでした。

しかし、チラシのスタイルと会場を固定化することにより徐々に認知度が上がり、最近では、一般のお客様にもたくさんお越しいただけるようになりました。

「うちの子じっとして観てられるかしら」というのが、最初のご心配ではないでしょうか？

泣き出したり、動き回ったりと・・・。今までの経験では、お子さん一人ひとり様々な反応が見られます。それは、ストーリーをより敏感に感じ取ってる表れだったりもします。泣いている子は、少し外へ出て落ち着いてから再入場できるように、スタッフがサポートします。ですが、ほとんどの場合、いつの間にか夢中で観ています。

『劇を観たからいい子になる』なんて言いません。だけど、幼い頃、家族や友達と一緒に観た舞台の思い出が、いつか幸せな記憶となって思い出される時があるかもしれません。

子ども時代に劇を観ないなんてもったいない。観劇に限らず、おやこでいろんな体験してみませんか？

(鑑賞部 大塚)



柏市教育委員会主催夏休み子ども教室

「夏の気分 DE デコっちゃおう！」

2019年7月30日 青少年センター

夏休み前、柏市内の小学校には「夏休み子ども教室」参加者募集のお手紙が配布されます。

12日間に3会場で57もの講座が開催されます。子どもたちは、参加したい講座を選んで応募、希望者多数の講座は抽選になります。

今年のこどもスペースの講座は、募集24名に対してなんと170名近くの応募がありました。

講座の内容は、色画用紙に様々な素材を貼って夏の気分を表現し、額に入れて完成というものです。

子ども達が目を輝かせるのが、ふんだんに用意されたデコバイキング。貝殻、おはじき、ビー玉、ストロー、モール、ビーズ、ふわふわボンボン、キラキラシール、布や折り紙、他にもたくさん。

ボンドや両面テープを使い、思い思いの夏を、色画用紙いっぱい表現しました。

アートに、正解や間違いはありません。スタッフは、教えるというより、うまい下手を気にせず、のびのびと表現できる雰囲気づくりを心掛けています。

作品は、花火・海・七夕・ビー玉が転がる仕掛けがあるものなど様々でした。完成後、ひとりずつ作品を披露し、参加者や保護者から温かい拍手が送られました。

(子どもの表現活動部 大塚)





ふれあいキャンプ2019

8月23～25日(金～日) あしがくぼキャンプ場



パレット柏 おはなし会

～お花がわらった 元気にわらった～

今年は大人28名・子ども23名の参加者で、2年ぶりにあしがくぼキャンプ場に行ってきました。

1日目はバスレクから始まり、爆弾ゲームやなぞなぞを行いました。午後はいつもより増量した川で遊びました。少し寒かったので岸辺で遊ぶ子どもたちも多かったですが、ゴムボードや水鉄砲で遊ぶ子どもたちもいました。川から上がるとドラム缶風呂に入り、そのあと、子どもたちも野菜や火おこしをし、夏野菜たっぷりのカレーライスを作りました。そして青年達がお化け役となって、夜道を歩く肝試しの後、手持ち花火を楽しみました。

2日目の朝は子どもたちが中心となって、青年とともにサンドイッチを作りました。そのあと、各々自由に輪ゴムや麻ひもを縛り、タマネギやクルミの草木染めを行いました。昼は冷製パスタと、ピザ窯で焼いたお手製ピザを食べました。午後は晴天で気温も上がり、たくさん子どもたちが川で遊び、みんなで上流の河原までさわのぼりをしました。夜は親子丼を作り、まったく焦げなくご飯が炊けました。そのあとのキャンプファイヤーでは、ゲームや楽器演奏、ダンス、花火などを楽しみました。夜はお酒や燻製と共に、大人だけの懇親会も行いました。

3日目の朝は牛乳パックを使ってホットドックを作りました。部屋の片づけの後、少しだけ川で遊び、スイカ割を行いました。そして昼食は竹樋を使った流しそうめんを楽しみました。帰りのバスでドラえもん映画を観ながら、無事に柏に到着しました。

「川遊びが楽しかった。」「初めてさわのぼりをした。」「学生以来のキャンプファイヤーで若返った。」など、参加者からはとても好評でした。

今年もみんなでたくさんの体験をし、たくさんふれ合い、ひとつの『大きな家族』となって過ごした2泊3日のキャンプでした。

(あそび部 菅原)

毎月第一水曜日、パレット柏との共催でおはなし会を開催しています。

おはなし会のプログラムは、親子ふれあいや歌、パネルシアター、絵本、紙芝居、体操などです。小さい子の集中力に合わせて、また、メンバーの得意分野を生かし、このスタイルが定着しました。スタッフは理事長を含めた6名に、時々お手伝いメンバーが入ります。

おはなし会で大事にしていることは、みんなで歌う歌や演目に季節感を取り入れること。親子のふれあい遊びをたっぷりと。そして、親子の居場所の一つになって、ホッとしてもらえる場になることを願っています。ママも子どももそのままいいよ。みんなが笑顔だと嬉しいけれど、泣いても、遊びに入れなくても、歩きまわっていても、子どもは参加しているのですよね。ママやおともだちがいることが嬉しい。

人がいっぱいびっくりするお子さんも。それぞれの参加の仕方があります。「だいじょうぶ、だいじょうぶ」「ママたち頑張っているね」と見守る応援団でいたいと思います。

始めは一緒に遊べなくても、それでも参加し続けて親子ともにスタッフに打ち解けてもらったり、4月から幼稚園入園のお子さんを歌で祝ったり、スタッフも嬉しいことがいっぱい。

これからも一緒に楽しむ仲間でいたいと思います。

(子育て支援部 見城)



時間 10:30～11:00 おはなし会

11:00～11:30 お茶を飲みながらの自由時間

会場 パレット柏多目的室A(11/6は、ミーティングルームD)

2019年度「なにみる？どこいく？なにしてあそぶ？」

みる	あそぶ・つどう	まなぶ
<p>7/6 (土) およこ舞台鑑賞会 人形劇団望ノ社 「英語であそぼう！ グローブパペット劇場」 「くいしんぼうねこ ミミの冒険」 アミュゼ柏プラザ</p>	<p>ママといっしょにあそぼ！ パレット柏おはなし会 毎月第一水 パレット柏多目的スペース A (パレット柏共催事業)</p> <p>4/6 (土) 春のあそび会 北柏ふるさと公園</p> <p>6/2 (日) デイキャンプ 手賀の丘公園キャンプ場</p> <p>8/23 (金)～25 (日) ふれあいキャンプ2019 あしがくぼキャンプ場 バスでみんなでファミリーキャンプ</p> <p>11/4 (月・祝) デイキャンプ 手賀の丘公園キャンプ場</p> <p>その他イベントのあそびコーナー担当</p>	<p>柏市放課後子ども教室にスタッフ協力 ♪ステップアップ学習会 柏市立柏第三小学校</p> <p>7/30 (火) 夏休みこども教室 ♪「夏の気分 de テコッチャおう！」</p> <p>11/24・12/1・8 (日) ♪「世界でひとつだけの 絵本づくり」 (パレット柏共催事業)</p> <p>★柏市のイベントにも参加★ 5/12 (日) 市民活動フェスタに参加 (市民活動の見本市)</p> <p>12/15 (日) パレット柏 「子育てフォーラム」に参加</p> <p>3/15 (日) アミュゼ柏 「はぐはぐ☆子育て応援 フォーラム柏2020」に参加</p>

(特) NPO こどもスペース柏は、2003年6月に設立。10月に特定非営利活動法人の認証を取得し、柏市を中心にさまざまな子育て支援事業を展開してきました。2013年度から柏市民公益活動促進基金の登録団体となり事業に活用させていただいています。

プロによる生の舞台を「みる」、キャンプなどで異年齢の子どもたちで「あそぶ」

そんな“わくわくドキドキ”体験を柏市の子どもたちに届けています。目の前に繰りひろげられる世界に目を輝かせ、心揺さぶられる体験や、子どもも大人も本気であそび合う楽しさは、子ども時代の宝物です。

【皆様のご協力を】

★**会員になる** イベントを楽しみたい方、企画運営に関わりたい方、会を応援したい方ならだれでも
正会員 入会金 1,000円 年会費 3,000円
子ども会員 登録料 500円

★**賛助会員になる** 財政面で会を応援したい方
個人一口 3,000円/年 法人一口 10,000円/年

★**柏市民公益活動促進基金(柏・愛らぶ基金)に寄付する**

税負担が軽減されます。(2018年度は114,000円ご支援いただきました。)

これまでいただいた寄付金により、舞台鑑賞会や子育て講演会など低価格でお届けすることができました。

記載されているすべてのイベント・内容については、お電話(平日10:00～18:00)またはメールにてお問い合わせください。または、会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。

電話：080-3738-8451 メール：info.kodomospace@gmail.com

